

秋田県から北海道へ

氏名 江本晶子

秋田県立金足農業高等学校 → 北海道札幌啓成高等学校
(期間：平成28年4月1日～平成30年3月31日)

1 秋田の教育

○ 秋田県は、農業、漁業、林業が盛んな高齢化先進県です。「数少ない若者層を活躍できる人材に育てる」ため、県財政の多くを未来の秋田県に投資する教育で占めています。

- ・ 1学級35名定員や英語・数学の習熟度（少人数）指導実施
- ・ 「早寝・早起き・朝ごはん」落ち着いた学習環境
- ・ 「毎日の家庭学習ノート」「毎日の生活の記録」の提出
- ・ 「姿・かたち・ふるまいさわやか高校生運動」
- ・ 医学部啓発セミナー（県で医師を目指す中学生高校生を増やす）
- ・ 語学力研修（英語教員全員、国際教養大学研修）

2 学校や地域の特色ある教育活動

○秋田県立金足農業高等学校は、平成30年に創立90周年を迎える学校です。農業を通して人を育てる教育を行い、3年間の実習では学習面だけでなく行動面も成長します。就職内定率も毎年100%です。

学校の特徴

- ・ 生物資源科、環境土木科、食品流通科、造園緑地科、生活科学科の5学科
- ・ 農業鑑定競技会全国大会優秀賞2名等、農業部門で多数入賞
- ・ 全員が個人の研究テーマを持ち、2年間課題研究実施
- ・ スポーツ金農という愛称で知られ、野球、ボクシング、相撲、ウエイトリフティング、ラグビー、バドミントンなどでインターハイ、国体等多数出場
- ・ 危険物取扱者試験、小型車両機械、コンピュータサービス技能検定等の資格取得率が高い
- ・ 金農生活三信条「整理整頓、挨拶励行、時間厳守」
- ・ 地元就職者数が秋田県の高校で一番多い。大学農学部進学希望も増加
- ・ 小論対策で週末課題全校実施（新聞記事から全職員が輪番出題）
- ・ 1ページの家庭学習ノート毎日提出
- ・ 全校一斉研究授業年1回、授業参観期間年2回実施

地域の学校

金足農高は、地元の有志に土地を提供してもらって開校しました。地域の方の学校への関心が強く、多くの学習において生徒を見守り育ててもらっています。

- ・ あぐり交流館での先進農家との共同農産物販売会

- ・ 専門分野の講演会（アイスクリームのヒット商品開発者等）
- ・ 地域との共同の避難訓練（地域、自衛隊との炊き出し練習）
- ・ 地元企業でのインターンシップ（全員実施）
- ・ 専門分野の企業視察（食品の加工流通に関わる工場等）
- ・ 秋田市や地元製パン会社との地元特産物の商品開発（金農パンケーキ等）

3 私が取り組んでいること

- わかる授業をするために

数学が苦手な生徒

- ・（高校では）高度な思考が要求される
- ・ 難解な記号と用語
- ・ 単元の活用方法が分からない

授業中の様子

- ・ 授業に興味がなくなり、学ぶ意欲が低下する

解決に向けて

- ・ 自分自身が面白いと思って授業をすることで、数学の本当の良さを伝える
- ・ 受け身の授業でなく、生徒が興味を持って自発的に学ぶ授業へ改善することが必要

授業改善への取り組み

- ・ 毎回の授業で何か一つを得、技能を身につけさせる
⇒ 難解な内容でも、指導の工夫次第で理解できる
毎時間課題を解決させることを積み重ねることで興味関心の向上を図る
- ・ 生徒の思考を停止させず、いろいろな概念を伝える
⇒ 数学の指導単元の経緯を理解し指導する
自発的な学びを保障するとともに、多様なものの見方を生徒同士で共有させる

分かる授業のため生徒のより良い成長を促すために、常に自分自身が進化するように努力を怠らないことも大切だと思います。金足農業高校在任中に、秋田県の「自己啓発休業」制度を利用し、石川県にある金沢大学大学院自然科学研究科数物科学専攻で2年間学ぶ機会がありました。金沢大学在学中の「石川県の行政」の講義で、県をよりよくするために挑戦している石川県職員の姿に刺激を受けました。また、どんな社会人・大学生に育てたいのかをイメージする時間を十分に頂くことができ、復帰した金足農業高校食品流通科の担任として、生徒たちに学ぶ姿勢や必要な行動力等を指導することができました。

この度、数学の力を深めたいという希望をもって北海道に赴任しました。札幌啓成高校は、今年創立50周年を迎え、SSH指定校として科学的な思考を育成する「探究基礎」を全生徒に開講しています。これは、自ら課題を見つけ解決することを目指しており、私が高校生の数学の授業に向かうときに必要なこととして感じたことに通じています。実際に勤務し、生徒と関わりながら啓成高校の良さについて学んでいきたいと思っています。

最後に、暖かく迎え入れてくださった札幌啓成高校の教職員並びに生徒の皆さんに感謝し、札幌啓成高校に少しでも貢献できればと思っています。